

令和6年度 公立学校教員採用候補者選考試験問題

商 業

1 / 7 枚中

注意 答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。
問題文中の会社等はすべて架空のものとする。

第1問題 「ビジネス基礎」と「課題研究」について、次の問に答えよ。

問1 次の(1)～(3)の説明にあてはまる最も適切な用語を後の【語群】から選び、A～Iの記号で答えよ。

- (1) 社会的に弱いとされる立場の人が、ほかの人たちと同じように生活できるようにすること。
- (2) ICT(情報通信技術)を使いこなせる人とそうでない人との間にある情報に関する格差。
- (3) 旅行者にとって魅力的な観光地をつくることを目的とした組織。

【語群】

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| A DMO | B ユニバーサルデザイン | C プライスライン |
| D 商品のコモディティ化 | E JTO | F ノーマライゼーション |
| G 情報リテラシー | H デジタル・アバイド | I ロス・リーダー |

問2 商業に関する学科に所属し、課題研究を履修している生徒から、「課題の設定で気を付けることは何ですか?」という質問があった。

この質問に対し、授業者(指導者)が内容上の取扱いで配慮することは何か、記せ。なお、配慮する事項は高等学校学習指導要領(平成30年告示)第3章 第3節 商業の内容を踏まえること。

第2問題 マーケティング分野について、次の問に答えよ。

問1 期間や日、ときには時間まで限定して、通常の利幅率を下回るような安い価格で特定の商品を販売する政策のことを特別価格政策というが、この政策に用いられる商品を何というか、答えよ。

問2 消費者は、製品購入に対する態度や行動により、次の(1)～(5)のタイプに分けることができる。 ～ にあてはまる語句を答えよ。

- (1) 採用者(イノベーター)
- (2) 採用者(アーリー アダプター)
- (3) 追随者(アーリー マジョリティ)
- (4) 追随者(レイト マジョリティ)
- (5) 遅滞者(ラガード)

問3 ガムやキャンディー、アイスクリームなどにみられるように、商品の価格が比較的長い期間に渡って一定であると、その価格が消費者にすっかりなじんでしまうことを「何の成立」というか、答えよ。

問4 次の(1)～(5)の説明について、下線部が正しいものは○、誤っているものは正しい語句を答えよ。

- (1) 製品志向の特徴は、企業の研究者や技術者が、消費者のことをあまり考えることなく、高い技術や新しいアイデアを中心に、新製品を開発していくことにある。研究者や技術者の興味に基づいて新製品がつくられるため、ニーズ志向とも呼ばれる。
- (2) 当初は無料でサービスを提供し、気に入ったら課金をしてもらうという価格設定の方法をフリーミアムという。
- (3) 新製品を市場に導入する際の価格設定の一つで、市場導入時に、販売量を伸ばし、市場シェアを拡大することを目指して低く設定される価格のことを上澄吸収価格(スキミング価格)という。
- (4) AI(人工知能)の活用は、人間が知能を使っていることを機械が代わりに行うことが一つの目的であり、アクティブラーニングという技術がAIを発展させている。
- (5) 企業が製品にばかり目を向け過ぎて、消費者ニーズが目に入らなくなってしまう状態があるが、これをマーケティング・マイオピビアという。マーケティングを実施する際には、これを避けなければならない。

問5 表1は、デザイン思考を組織で実現するプロセスについて、5段階で示したものである。カ～クの名称の組み合わせとして適切なものをA～Dから選び記号で答えよ。

表1

段階の名称	説 明
カ	観察などを通じてユーザーの行動に寄り添い、理解することで、何が問題なのかを発見する。
キ	解決するユーザーの問題やニーズを絞り込み、特定化する。
ク	解決すべき課題に対し、新しい解決方法となるコンセプトやアイデアを生み出す。
試作(プロトタイプ)	アイデアを口に見える形で作ってみる。
テスト	ユーザーに評価・試用してもらうことで改善点を発見する。

- | | | | |
|---|----|----|-----|
| | カ | キ | ク |
| A | 共感 | 取束 | 体系化 |
| B | 共感 | 定義 | 概念化 |
| C | 理解 | 取束 | 体系化 |
| D | 理解 | 定義 | 概念化 |

第3問題 マネジメント分野について、次の問に答えよ。

問1 次の(1)～(5)について、～にあてはまる語句または数値を答えよ。

- (1) 知的財産権のうち、意匠権は出願の日から年間を経過すると消滅し、実用新案権と商標権は出願・登録の日から年間を経過すると消滅する。
- (2) 思い違いやいい違いによってなされた意思表示の場合のことで、契約書に10万円と書くつもりで100万円と書いてしまった場合のように、真意と意思表示の内容とが一致していないことに表意者自身が気づかない場合の意思表示を意思表示という。
- (3) 当事者の意思表示の合致だけで成立する契約をという。
- (4) 債務者が債務を履行しない場合に、債務者以外の第三者が債務者のかわりに債務の履行をする義務を負うことを保証といい、この第三者が負う義務のことをという。
- (5) 企業が経営や事業活動において、違法な行為を行ったり、社会倫理に違反する不祥事を引き起こした場合、消費者や利害関係者に対して与えた損害を賠償する責任を負う。現在の企業に対しては、このような責任をこえて、違法活動や不祥事の原因、事件の経緯や事実関係などの情報を公表する責任がある。これを説明責任、またはという。

問2 ダイバーシティ経営について、次の～にあてはまる語句を答えよ。

企業は単に富を生み出すだけの存在ではなく、環境や社会にする存在であるため、のもとで優れた経営を行うことが期待されている。・年齢・性別などにとらわれず、な価値観・能力をもった人材を活用した経営も求められる。

問3 「インフレーション」と「デフレーション」の違いについて簡潔に説明せよ。

問4 「クラウドファンディング」について簡潔に説明せよ。

第4問題 会計分野について、次の問に答えよ。

問1 後の(1)～(5)の取引の仕訳を示せ。ただし、勘定科目は、次の中から適当なものを使用すること。

【勘定科目】

現金	当座預金	受取手形	売掛金
貸倒引当金	電子記録債権	貸付金	営業外受取手形
車両運搬具	車両運搬具減価償却累計額	土地	建設仮勘定
子会社株式	支払手形	借入金	当座借越金
未払配当金	営業外支払手形	資本	資本準備金
その他資本剰余金	利益剰余金	利益準備金	別途積立金
繰越利益剰余金	自己株式	売上	受取利息
受取配当金	有価証券売却益	雑益	固定資産売却益
仕入	雑費	雑損	固定資産売却損
浜田支店	益田支店	本店	現金過不足

- (1) 第6期(決算年1回)初頭に営業用自動車を¥3,000,000で買い入れ、この代金はこれまで使用してきた営業用自動車を¥500,000で引き取らせ、新車の代金との差額は小切手を振り出して支払った。ただし、この旧車は第4期初頭に¥2,500,000で買い入れたもので、定率法により毎期の償却率を0.50として減価償却費を計算し、間接法で記帳してきた。
- (2) P社(親会社)はS社(子会社)振り出しの約束手形¥300,000のうち、¥100,000を銀行で割り引き、残り¥200,000を期末現在保有している時の連続仕訳。
- (3) 帳簿価額¥12,000,000の土地を¥10,000,000で出雲商店に売却し、代金は同店振り出しの約束手形で受け取った。
- (4) 決算にあたり、現金過不足勘定の借方残高¥20,000を整理した。
- (5) 鳥根商事株式会社から配当金領収証¥50,000を受け取った。

問2 次の取引を読み、後の(1)～(3)に答えよ。

殿町商店から商品¥200,000を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。ただし、当座預金勘定には借方残高¥150,000があり、当座借越契約による借越限度額は¥500,000である。

- (1) この取引の仕訳を示せ。なお、使用する勘定科目は問1の【勘定科目】の中から適当なものを使用すること。
- (2) 下線部の契約を結んでいなかった場合、振り出した小切手は不渡りとなる。不渡りとは具体的にどのような状態をいうか、簡潔に記せ。
- (3) 一定期間に複数回、不渡りを出すと、銀行との取引にどのような問題が生じるか、簡潔に記せ。

問3 表2はある企業3社の財務諸表を表したものである。これをもとに、表3の ～ に入る数値を答えよ。

表2

	A社	B社	C社
流動資産	¥8,550,000	¥25,200,000	¥22,770,000
流動負債	¥9,500,000	¥12,000,000	¥11,000,000
当期純利益	¥2,500,000	¥1,377,000	¥2,088,000
総資本	¥50,000,000	¥45,900,000	¥52,200,000
自己資本	¥34,000,000	¥26,622,000	¥33,930,000

表3

	A社	B社	C社
流動比率	<input type="text" value="ア"/> %	210%	207%
自己資本比率	68%	<input type="text" value="イ"/> %	65%
総資本利益率	5%	3%	<input type="text" value="ウ"/> %

問4 次の資料は、単純総合原価計算を採用しているある企業のデータを表したものである。これをもとに、月末仕掛品原価を求めよ。ただし、以下のi～iiiを条件とする。

- i 素材は製造着手のときにすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。
- ii 月末仕掛品原価の計算は平均法による。
- iii 正常減損は製造工程の始点で発生しており、正常減損費は完成品と月末仕掛品の両方に負担させる。

資料

① 生産データ		② 月初仕掛品原価	
月初仕掛品	760kg (加工進捗度50%)	素 材 費	¥391,600
当 月 投 入	3,240kg	加 工 費	¥180,400
合 計	4,000kg	③ 当月製造費用	
月末仕掛品	660kg (加工進捗度60%)	素 材 費	¥3,212,000
正 常 減 損	40kg	加 工 費	¥2,961,200
完 成 品	3,300kg		

第5問題 ビジネス情報分野について、次の問に答えよ。

問1 図1は、参加者15名の絵画コンクールの審査結果であり、これは後の〔処理条件〕ア～ウに従って、表計算ソフトウェアで作成されたものである。後の(1)、(2)に答えよ。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	絵画コンクール審査結果											
3	番号	氏名	審査1	審査2	審査3	審査4	審査5	審査6	審査7	合計	順位	評価
4	1	安来 花子	6	10	8	4	9	6	6	35	6	優秀賞
5	2	松江 太郎	10	4	8	5	5	7	4	29	13	
6	3	穴蓮 次郎	6	9	9	8	6	10	5	38	4	優秀賞
7	4	玉造 邦夫	5	8	9	7	6	6	7	34	8	
8	5	平田 伸介	4	8	4	4	7	8	5	28	14	
9	6	出雲 蓮子	5	4	8	4	9	6	9	32	9	
10	7	大東 千香	5	5	8	5	5	7	4	27	15	
11	8	三刀屋 進	9	7	8	10	10	5	6	40	3	優秀賞
12	9	横田 三郎	7	6	9	9	4	5	8	35	6	優秀賞
13	10	大社 一郎	8	10	9	10	5	10	5	42	1	最優秀賞
14	11	遼摩 佐助	9	6	9	4	7	10	10	41	2	優秀賞
15	12	江津 真一	6	10	9	8	7	7	6	37	5	優秀賞
16	13	浜田 久子	7	6	5	5	5	7	10	30	12	
17	14	益田 司	7	4	6	10	4	10	5	32	9	
18	15	津和野 陸	4	7	7	7	6	7	5	32	9	

図1

〔処理条件〕

- ア J列の「合計」は、C列の「審査1」からI列の「審査7」の7名分の審査員の得点の合計から最高点と最低点を除いた5名分の得点の合計を求める。
- イ K列の「順位」は、J列の「合計」の数値の高い人から降順に順位をつける。
- ウ L列の「評価」は、J列の「合計」の数値の平均点以上の人を“優秀賞”とし、最も数値の高いものを“最優秀賞”と表示する。

- (1) セル(J4)に入力されている式を記せ。
- (2) セル(I,4)に入力されている式を記せ。

問2 2進数「110101」と10進数「3」の積を2進数で表したものととして適切なものを、A～Dから選び、記号で答えよ。

- A 110010
- B 111000
- C 10011111
- D 11001101

問3 図2は、ある食堂で支店が独自に考案している日替わり定食の売り上げ数について、その特徴や傾向を表計算ソフトウェアで分析し、まとめたものである。後の(1)～(4)に答えよ。

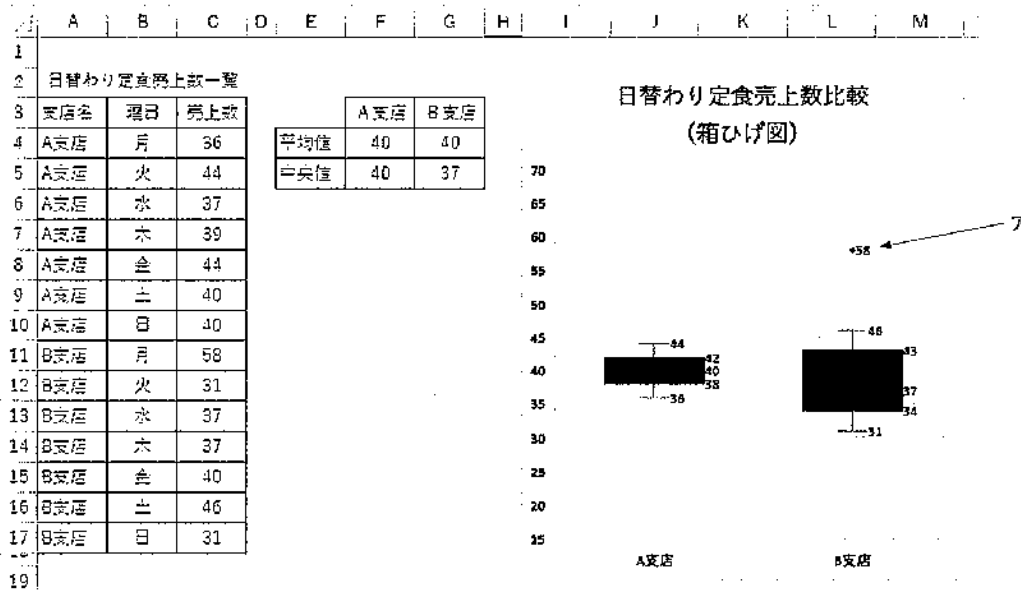


図2

(1) 図2のセル(F5)の「中央値」を求める式を次のA～Fから選び、記号で答えよ。

- A =MEDIAN (C4 : C10)
- B =MID (C4 : C10)
- C =AVERAGE (C4 : C10)
- D =MID (C4 : C17)
- E =MEDIAN (C4 : C17)
- F =AVERAGE (C4 : C17)

(2) 「平均値」と「中央値」はどのような値を表しているか、「データ」の語を用いてそれぞれ簡潔に記せ。

(3) 図2の箱ひげ図に見られるアのように、他のデータと比べ、明らかに値が大きい値のことを何というか、答えよ。

(4) データの分析に箱ひげ図を用いる目的について、簡潔に記せ。

問4 図3は、プログラムの説明と、そのプログラム (Visual Basic for Applications) を表したものである。ア、イにあてはまるものを、【解答群】のA～Iから選び、記号で答えよ。

プログラムの説明	プログラム (Visual Basic for Applications)						
<p><u>処理内容</u> 引数で渡された配列に記憶されている数値を並べ替えて、結果をディスプレイに表示する。</p> <p><u>処理条件</u> 1. 配列Tblにはデータが記憶されている。なお、データの件数はnに記憶されている。</p> <p>配列 Tbl</p> <table border="1" data-bbox="352 831 687 898"> <tr> <td>(0)</td> <td>～</td> <td>(n - 1)</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>～</td> <td>32</td> </tr> </table> <p>2. 配列Tblの数値を昇順に並べ替えながら表示する。</p>	(0)	～	(n - 1)	25	～	32	<pre> Sub Mondai(Tbl() As Long, n As Long) Dim i As Long Dim j As Long Dim Temp As Long For i = 0 To n - 2 For <input type="text" value="ア"/> If Tbl(j) > Tbl(j + 1) Then Temp = Tbl(j) Tbl(j) = Tbl(j + 1) Tbl(j + 1) = Temp End If Next j MsgBox (Tbl(i)) Next i MsgBox (<input type="text" value="イ"/>) End Sub </pre>
(0)	～	(n - 1)					
25	～	32					

図3

【解答群】

- A Tbl(i)
- B Tbl(j)
- C Tbl(j + 1)
- D Tbl(i + 1)
- E Temp
- F j = n - 2 To i Step -1
- G j = n - 1 To i Step -1
- H i = 1 To j Step 1
- I i = 0 To n - 1 Step 1